

平成 27 年 1 月 26 日  
独立行政法人福祉医療機構  
経営サポートセンター長 岐部 宏幸  
経営サポートセンター リサーチグループ  
グループリーダー 千葉 正展  
(電 話) 03-3438-9932  
(F A X) 03-3438-0371

## 平成 25 年度 病院の経営状況について

独立行政法人福祉医療機構では、標記に関するリサーチレポートをとりまとめました。

なお、同レポートの内容は、機構ホームページ(<http://hp.wam.go.jp/tabid/1853/Default.aspx>)にも掲載しております。

### 1. レポートの概要

当機構では毎年、融資先のお客さまより決算書を提出いただいております。今般、平成 25 年度の病院の決算(1,698 件)について取りまとめ、分析を行いました。

### 2. 平成 25 年度決算の概要

- 収支状況では、人件費をはじめとする各費用増もあり、「経常収益対経常利益率」は一般病院で前年度比 1.3 ポイント低下し 2.3%、療養型病院で 0.4 ポイント低下し 6.0%、精神科病院で 1.0 ポイント低下し 2.7%と利益は軒並みマイナス傾向となっています。各病院類型ともに年々赤字病院の割合は増加し、一般病院では約 4 割が赤字となっています。
- 財務状況では、一般病院で「固定資産」や「固定負債」の増加など投資の増加傾向がみられるものの、療養型病院、精神科病院では特に大きな動きはみられませんでした。
- 回復期リハビリテーション病院では、従事者数の増加に伴い、経年で機能性は向上しています。また、回復期リハビリテーションに専門特化することでさらに利益率は上昇するほか、病床規模については当機構のデータでは、「100 床以上 199 床以下」の経常利益率が最も高くなっています。
- 平成 25 年度は診療報酬改定の狭間でありましたが、前年度と比較し全般的に厳しい経営状況と認識される結果となりました。

以上